

千代田区

2009年5月27日

千代田図書館・企画展示

文化を未来へ手渡す ～コロタイプ印刷の世界～

千代田図書館にて『文化を未来へ手渡す ～コロタイプ印刷の世界～』を開催いたします。

千代田区には出版に関わる様々な産業が集積しており、出版と関連の深い印刷業もまた千代田区の特徴を表す産業の1つです。

本展では、近年は印刷技術の粋を超え、アート表現の手法としても注目されているコロタイプ印刷の技術と活用事例をご紹介します。

また、会期中7月4日には展示関連の講演会も開催いたします。

※本展は、コロタイプ印刷技法を現在に受け継ぐ、株式会社便利堂（東京事務所 ギャラリーオフィス東京／千代田区一ツ橋）のご協力により開催しております。株式会社便利堂は、京都に本社を置き、今年で122年を迎える老舗で、美術写真や美術出版の世界でも広く活躍している企業です。

■展示内容

《文化を未来へ手渡す—コロタイプ印刷の世界》

滑らかで深みのある質感が特長のコロタイプ印刷は、約150年前にヨーロッパで生まれ、日本で発展しました。微妙な色彩の変化や筆力の忠実な再現を可能とするこの技法は、文化財の保存や焼失文化財の再現、流出文化財の複製等において重要な役割を果たしてきました。近年はアート表現の手法としても注目されているコロタイプ印刷の技術と活用事例をご紹介します。

会期：2009年5月25日（月）～7月25日（土）

場所：千代田図書館9階＝展示ウォールほか

展示品一例：コロタイプ印刷による文化財複製品

- ・「蒙古襲来絵詞」 1993（平成5）年 便利堂発行 卷子・部分複製
鎌倉時代の御家人である竹崎季長が作成させたとされる絵巻。文永・弘安両役（元寇）の様子が絵と詞書によって克明に記録されている。場面は首実検の様子。
- ・「池大雅 與謝蕪村 十便十宜畫冊」1970（昭和45）年5月25日 筑摩書房 発行
折本装・桐箱入・別冊解説付
池大雅、与謝蕪村という日本文人画の巨匠二人によって競作された記念碑的傑作。
「十便」を大雅が、「十宜」を蕪村が描いている。
- ・「野山嶽讀書記」1931（昭和6）年3月15日 貴重圖書影本刊行會 発行 和装本・帙入
安政元年、吉田松陰が罪を蒙って萩城下の野山嶽に幽閉された時、獄中において月々読書した典籍の名を順次記録した冊子。

■展示関連講演会

《コロタイプ技法 — 国宝をうつす、伝える —》

コロタイプ印刷の技術と文化財複製について、手法とその実績を具体例とともに解説します。
また、ベテラン職人による実演も行います。

日時：7月4日（土）14:00～16:30

会場：九段生涯学習館3階＝第一学習室

講師：山本修（やまもと・おさむ）氏／株式会社便利堂

定員：40名（事前申込制・先着順）

参加費：無料

申込方法：6月5日（金）受付開始（受付時間：月～金10:00 - 18:00）

電話または図書館10階カウンターで申込

本件お問合せ先：千代田図書館 広報担当：坂巻・米村 TEL 03-5211-4288

お客様お問合せ先：TEL 03-5211-4289・90／千代田区九段南1-2-1 千代田区役所9・10階